

2022 年度 S1S2 復興デザイン学

月曜 6 限 1845-2030 @Zoom オンライン開催

担当：本田・大月・福田・横張  
羽藤・浦田・中尾・小林・北原

- ・復興や事前復興に関わる各分野の研究や事例に関する講義をもとにその実態・課題について理解を深めるとともに、復興プロセス全体や多様な時空間的領域の関係・接続（あるいは分断）について俯瞰的に理解し、今後の復興デザインを考えるにあたって重要と考えられる事項について議論を深める。

**【講義の進め方と課題】**

- ・講義 4 回ずつの 3 パート+最終回に分けて進行する。
- ・課題として中間レポート 3 回+最終レポートを提出すること。

## A) 通常講義（各パートの 1~3 回目）

- ・各講師が指定する参考文献（5 本程度）を参照して参加する。
- ・講師からの講演（50 分程度）ののち、各講師が設定する問い（議論テーマ）について参加学生・講師間で議論する。参加学生は参考文献を読んで、講師への質問や議論したいことをいくつか考えておくこと。議論では、ランダムで学生を指名する。講師への質問にとどまらず、講師や他学生の発言を踏まえて、さらに議論を深めることを意識する。

## B) 中間議論（各パートの 4 回目）

- ・3 回分の講義に基づき、担当教員が設定するパート共通の問い（考えてほしいこと）について議論を行う。
- ・はじめに 4~5 名程度の班に分かれ学生のみで 2~30 分程度の議論を行う。
- ・ランダムで指名された学生は、班の議論を踏まえた個人の意見を全体に発表し、他班の学生と議論を行う。
- ・最終回の議論・最終レポートに向けて、各パートの中間議論で自身が考えたことは、各自まとめておくこと。
- ・中間レポートの提出：3 回分の講義の要点を簡単にまとめ、それらに基づき次の復興もしくは事前復興のあり方についての示唆を導出する。A4・2p 以内、箇条書きでも構わない。
- ・各パート締め切り：各 3 回目講義直後の金曜 17 時 ※ (1) =5/6、(2) =6/3、(3) =7/1。

## C) 最終回

- ・3 パートでの議論・示唆を踏まえて、また重要であると考えられることを検討し、復興デザインを実践する際に考慮しておくべきこと、特に具体的にそうした実践によって現れる違い・成果、実践する際に課題と考えられることなどを議論する。
- ・はじめに、4~5 名程度の班に分かれ学生のみで議論し、その後全体で議論を行う。
- ・各自、最終回に議論すべき論点・キーワードを箇条書きで簡単にまとめて提出。A4・p1 以内。
- ・締め切り：7/8（金）17 時

## D) 最終レポート

- ・ 最終回を含む全ての回の議論を踏まえて、次の大災害の復興において考慮すべきこと、特に具体的にそうした実践によって現れる違い・成果、実践する際の課題や事前復興への示唆等について考えを、A4・6～10p程度でまとめて提出。
- ・ 締め切り：7/29（金）17時

**【スケジュール／講師と内容】****(1) 災害復興史**

①4/11 石榑督和 関西学院大学准教授 戦後闇市 ×中尾俊介 ※ガイダンス

②4/18 富田宏 漁村計画 漁村の災害と復興史 ×萩原拓也

4/25 は復興デザインスタジオ現地調査のため休講。6/1 に補講を行う。

③5/2 大月敏雄 東京大学教授(建築学専攻) 関東大震災同潤会

④5/9 中間議論1 (中尾)

**(2) 住生活・住環境の再建**

⑤5/16 澤田雅浩 兵庫県立大学准教授 中越地震の住宅再建と地域の再生

⑥5/23 西野淑美 東洋大学准教授(社会学) 住宅の再建プロセス

⑦6/1 近藤民代 神戸大学准教授 ハリケーンカトリーナ

× 益子智之 早稲田大学助教 イタリアにおける震災復興

⑧6/6 中間議論2 (北原)

**(3) 都市・地域の計画**

⑨6/13 川崎興太 福島大学教授 原発被災地の復興

⑩6/20 三宅諭 岩手大学教授 漁港の復興

⑪6/27 角田陽介 国土交通省(元大船渡市副市長) 東日本大震災の復興事業

⑫7/4 中間議論2 (小林/浦田)

**(4) 最終議論**

⑬7/11 学生議論(本田)

**【成績評価】**

・ 各回の出席、最終レポート、最終回での発表、質疑応答による。

※中間レポートは評価に含めません。

**【課題等の提出先】**

ITC-LMSにて提出

**【オンライン授業 URL】**

<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/j/87263277697?pwd=aDNITlljd01mSENnSkpXejNWbVlyQT09>

ミーティングID: 872 6327 7697

パスコード: 115493

## 【参考文献】※随時更新 各回の先生から提示

- 1) 石樽督和「戦後復興期新宿駅前における和田組マーケットの形成と変容 新宿駅近傍における都市組織の動態をめぐって・その2」『日本建築学会計画系論文集』2017年82巻733号 ([https://www.jstage.jst.go.jp/article/aija/82/733/82\\_793/\\_article/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/aija/82/733/82_793/_article/-char/ja))
- 2) 石樽督和「森田組東口マーケットの形成と戦災復興土地区画整理事業からみる池袋駅東口の戦災復興過程」『日本建築学会計画系論文集』2017年82巻735号 ([https://www.jstage.jst.go.jp/article/aija/82/735/82\\_1349/\\_article/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/aija/82/735/82_1349/_article/-char/ja))
- 3) 石樽督和「東京ヤミ市建築史」(『商店建築』2019年2月から7月の連載)
- 4) 石樽督和「点在する東京のマーケット——再び都市の資源になりうるか」(『10+1』) (<https://www.10plus1.jp/monthly/2017/09/issue-03.php>)
- 5) 石樽督和「池袋西口民衆駅の計画と建設 国鉄駅舎の戦災復興とターミナル開発としての民衆駅方式」『日本建築学会計画系論文集』2017年82巻737号 ([https://www.jstage.jst.go.jp/article/aija/82/737/82\\_1847/\\_article/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/aija/82/737/82_1847/_article/-char/ja))
- 6)